

9月8日：ビンググループ関連が売られ、VN指数は続落

ビンググループ関連、銀行銘柄が下げたことでVN指数は続落した。

VN指数は午後に下げ幅を拡大させた。最終的に同指数は0.62%安の1,333.61ポイントで取引を終えた。同指数は直近2日間で1%下落していた。

流動性では、売買代金、売買高が3割近く減少。この日の売買高は6億2,600万株で、売買代金は19兆6,000億ドン（8億5,220万米ドル）となり、これは直近6日間で最も低い水準だった。

ビンググループ（VIC）、ビンホームズ（VRE）はVN指数の値下がり寄与度でトップだった。ビンググループは2%を超える下落で、ビンホームズも1.6%下げた。

マーケットで勢いのあった銀行株も落ち込んだ。銀行株は15銘柄が下落し、値下がり寄与度上位10銘柄にそのうち3銘柄が含まれた。3銘柄は、VPバンク（VPB）-2.4%、テクコムバンク（TCB）-1.7%、ヴィエティンバンク（CTG）-1.5%だった。

加えてVN30指数も下げた。ペトロベトナムガス（GAS）、バオベトホールディングス（BVH）、ペトロリメックス（PLX）、PVパワー（POW）、マサングループ（MSN）、ビナミルク（VNM）はそれぞれ1%を超える下落となった。

ハノイ市場のHNX指数も0.23%安の347.28ポイントと軟調だった。

同指数は9日間で5%近く上昇していた。

しかしこの日の出来高は減少し、売買高が前日比26%減の約1億3400万株、売買代金が前日比23%減の2兆9000億ドンだった。

「市場の短期的な見通しは不確かだ。ホーチミン市や南部の省が通常のエconomic活動を再開させる時期がはっきりせず、新型コロナ第4波の経済的影響をしっかりと評価することができないためだ」（サイゴンハノイ証券のアナリスト）

「第3四半期で上場会社の利益成長率は落ち込む可能性があり、前年同期と比べ見劣りするかもしれない。しかしコロナ下で消費、投資、輸出における減少が見られており、驚くことはないだろう」（同証券会社の9月の投資家向けレポート）

外国人投資家は9日連続でホーチミン市場で売り越した。売り越し額は4,460億ドン近くとなった。

一方、ハノイ市場では12日連続で買い越した。買い越し額は80億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。